



2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社
コード番号 3902 URL <https://www.mdv.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 博之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画本部長 (氏名) 鬼原 正博

TEL 03-5283-6911

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	3,002	5.1	719	8.2	700	9.7	445	14.7
2022年12月期第2四半期	2,856		784		775		521	

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 446百万円 (14.5%) 2022年12月期第2四半期 521百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	11.66	
2022年12月期第2四半期	13.64	13.63

(注) 1. 2022年12月期の期首より「収益認識基準に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、2022年12月期第2四半期の連結業績は当該会計基準等を適用した後の数値であるため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年12月期第2四半期については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

3. 2023年12月期第2四半期連結累計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	5,586	3,826	66.8
2022年12月期	4,897	3,606	71.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 3,733百万円 2022年12月期 3,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		6.00	6.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	17.9	1,800	2.4	1,800	2.8	1,200	37.9	31.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご確認ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	40,027,526 株	2022年12月期	40,027,526 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	1,830,678 株	2022年12月期	1,830,678 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	38,196,848 株	2022年12月期2Q	38,272,311 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「生活者が生涯を通じて自身の医療・健康情報を把握できる社会」および「それらの情報をもとに、自身で医療・健康分野のサービスを選択できる社会」の実現をビジョンとして定義しております。当社グループは、主にデータネットワークサービスとデータ利活用サービスの2つの事業を展開しており、高いセキュリティ環境の下、膨大な医療・健康に係るデータを蓄積し、それを有効活用することが、医療の質向上、ひいては患者や生活者へのメリット創出につながると考えております。

データネットワークサービスは、情報の発生源の一つである医療機関に経営支援システムを提供すると同時に、医療機関及び患者から二次利用の許諾・同意を得たうえで医療・健康情報を収集・蓄積するものであります。データ利活用サービスは、当社グループがデータネットワークサービスを通じて収集・蓄積した大規模診療データベース「さくらDB」を中心とする医療・健康情報を活用したサービスであり、主に製薬会社、研究機関などに各種分析データ等を提供するものであります。また、今期よりデータネットワークサービスの一部をその他サービスとして区分化し、新たな収益の柱とすべく事業を推進してまいります。その他サービスについては、当社のBtoC事業及び子会社であるDoctorbookが扱う医療動画配信サービスなどで構成されています。

当第2四半期連結累計期間においては、アフターコロナへの転換が進み、個人消費を中心に景気回復の兆しを見せ始めている一方で、不安定な世界情勢や原材料価格の高騰などを機とした物価上昇が続き、先行きが不透明な状況が続いております。当社グループの主たる事業領域である医療関連業界においても、依然として予断を許さない状況は継続しておりますが、当第2四半期連結累計期間末現在、当社グループの業績に重大な影響は観測されておられません。

当第2四半期連結累計期間の売上高は3,002,351千円（前年同四半期比5.1%増）、売上総利益は2,345,045千円（前年同四半期比0.7%減）、販売費及び一般管理費は1,625,472千円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は719,572千円（前年同四半期比8.2%減）、経常利益は700,127千円（前年同四半期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は445,189千円（前年同四半期比14.7%減）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間におけるサービス区分別の売上高については下表のとおりです。

(単位：千円)

回次	第20期 第2四半期 連結累計期間	第21期 第2四半期 連結累計期間	前年同 四半期比
データネットワークサービス	731,372	723,177	△1.1%
データ利活用サービス	1,885,577	2,007,186	+6.4%
その他サービス	239,787	271,987	+13.4%
売上高 合計	2,856,737	3,002,351	+5.1%

(注) 第20期第2四半期連結累計期間のサービス区分については、変更後の区分方法により作成したものを参考値として記載しております。

なお、大規模診療データベースは、2023年6月末現在で、実患者数が4,406万人（前年同月末比390万人増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて688,653千円増加し、5,586,031千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて348,725千円増加し、3,873,264千円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が417,912千円減少したものの、現金及び預金が742,238千円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて339,928千円増加し、1,712,766千円となりました。これは主に、投資その他の資産が363,189千円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて468,254千円増加し、1,759,344千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて468,106千円増加し、1,674,898千円となりました。これは主に、契約

負債が215,309千円、未払法人税等が179,419千円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて148千円増加し、84,446千円となりました。これは、資産除去債務が148千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて220,399千円増加し、3,826,687千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が445,189千円であることと、剰余金の配当の結果、利益剰余金が216,008千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、3,007,093千円となりました。当第2四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,278,181千円（前年同四半期は611,526千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が699,065千円、売上金の回収等に伴い売上債権の減少が417,912千円、契約負債の増加が215,309千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、310,946千円（前年同四半期は596,726千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が325,649千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、224,997千円（前年同四半期は979,172千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額が228,560千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年2月13日の「2022年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,264,855	3,007,093
売掛金及び契約資産	983,665	565,752
原材料	13,745	3,293
その他	265,272	302,534
貸倒引当金	△2,999	△5,409
流動資産合計	3,524,539	3,873,264
固定資産		
有形固定資産	137,755	141,744
無形固定資産		
ソフトウェア	2,060	1,407
のれん	257,205	230,609
その他	192	192
無形固定資産合計	259,459	232,210
投資その他の資産		
投資有価証券	409,922	716,766
その他	590,943	646,946
貸倒引当金	△25,243	△24,901
投資その他の資産合計	975,622	1,338,811
固定資産合計	1,372,837	1,712,766
資産合計	4,897,377	5,586,031
負債の部		
流動負債		
買掛金	93,155	132,271
未払法人税等	95,786	275,205
契約負債	755,426	970,735
賞与引当金	4,894	15,606
その他	257,529	281,078
流動負債合計	1,206,791	1,674,898
固定負債		
資産除去債務	71,554	71,702
その他	12,744	12,744
固定負債合計	84,298	84,446
負債合計	1,291,090	1,759,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,661	992,661
資本剰余金	1,838,890	1,838,890
利益剰余金	3,045,575	3,261,583
自己株式	△2,341,975	△2,341,975
株主資本合計	3,535,151	3,751,160
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△19,503	△17,942
その他の包括利益累計額合計	△19,503	△17,942
新株予約権	—	3,563
非支配株主持分	90,639	89,905
純資産合計	3,606,287	3,826,687
負債純資産合計	4,897,377	5,586,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,856,737	3,002,351
売上原価	495,847	657,306
売上総利益	2,360,889	2,345,045
販売費及び一般管理費	1,576,673	1,625,472
営業利益	784,215	719,572
営業外収益		
受取利息	17	10
受取配当金	0	563
貸倒引当金戻入額	342	342
その他	139	756
営業外収益合計	499	1,672
営業外費用		
持分法による投資損失	—	21,055
支払手数料	9,343	—
その他	41	61
営業外費用合計	9,385	21,117
経常利益	775,329	700,127
特別損失		
固定資産除却損	—	1,061
特別損失合計	—	1,061
税金等調整前四半期純利益	775,329	699,065
法人税、住民税及び事業税	111,446	252,320
法人税等調整額	141,993	2,288
法人税等合計	253,440	254,609
四半期純利益	521,889	444,456
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△68	△733
親会社株主に帰属する四半期純利益	521,958	445,189

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	521,889	444,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	1,560
その他の包括利益合計	—	1,560
四半期包括利益	521,889	446,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521,958	446,750
非支配株主に係る四半期包括利益	△68	△733

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	775,329	699,065
減価償却費	28,008	22,843
のれん償却額	37,932	26,596
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	578	2,067
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,689	10,712
受取利息及び受取配当金	△17	△573
持分法による投資損益 (△は益)	—	21,055
固定資産除却損	—	1,061
売上債権の増減額 (△は増加)	206,721	417,912
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,197	12,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	△18,005	39,115
未払金の増減額 (△は減少)	△7,544	△20,769
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,387	3,077
契約負債の増減額 (△は減少)	100,823	215,309
その他	△118,910	△93,044
小計	986,642	1,356,689
利息及び配当金の受取額	17	573
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△375,133	△79,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,526	1,278,181
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△800	—
定期預金の払戻による収入	20,418	—
有形固定資産の取得による支出	△10,200	△17,907
投資有価証券の取得による支出	△150,550	△325,649
敷金の差入による支出	—	△3
敷金の回収による収入	11,430	30,661
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△467,090	—
その他	66	1,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△596,726	△310,946
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	110,200	—
自己株式の取得による支出	△871,874	—
新株予約権の発行による収入	—	3,563
配当金の支払額	△217,498	△228,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△979,172	△224,997
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△964,371	742,238
現金及び現金同等物の期首残高	3,202,172	2,264,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,237,800	3,007,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。